理事長　年頭挨拶

公益財団法人「三浦財団」　理事長　三浦　紘一

２０２０年(令和２年)の新年にあたり、改めて公益財団法人「三浦財団」の活動の意義を申し上げます。極端に言えば、世界レベルで　活躍できる人材の育成を支援し、青森県や岩手県から総理大臣や　ノーベル賞の受賞者を輩出させたいという思いです。ビジネス界で見ても、大きな企業の社長や役員を務めている地元出身者はあまりにも少ないのです。

返済不要の｢給与型奨学金事業｣を実施し、優秀な学生を学業に　専念させたいと考えました。以前は公立より優れた私立高校を立ち上げたいという思いも抱いておりました。理念や意義はそれと共通しています。世界で活躍する人材が誕生して欲しいと切に願います。